

# みんなで作るふるさと小菅ヶ谷

私たちの住む小菅ヶ谷をこんな町にしたいな！

## 小菅ヶ谷レクレーション

10月8日(日) 場所：小菅ヶ谷スポーツ広場



## 敬老の集い

9月16日(土) 場所：栄公会堂(たっちーらんど)



## 小菅ヶ谷つながるプランとは

私たちの住んでいる栄区は、誰もが身近な地域で安心して暮らせるまちをつくるため、地域福祉保健計画(さかえ・つながるプラン)を推進しています。小菅ヶ谷地区でも少子高齢化社会を迎えた現在、地域の中での福祉や健康のニーズが高まっており、これまで以上に一人一人の生活に合った対応が求められています。そこで、これらのさまざまな課題に主体的に取り組んでいくため「第3期小菅ヶ谷つながるプラン」をつくり、現在活動を進めています。このプランを推進していくのは小菅ヶ谷地区に住む一人一人です。身近な町内会や自治会と地域のみんが協力し、安心して暮らせる「ふるさと小菅ヶ谷」をつくっていきましょう。

### 第3期活動のテーマ

- ・ 地域の中でつながろう
- ・ 地域で子育てを応援しよう
- ・ 健やかな心と体を育てよう
- ・ 災害時に備えた平常時からの要援護者支援に取り組もう

### 編集後記

- ・ 平成28年度から第3期を迎えている「小菅ヶ谷つながるプラン」では、第2期の反省をふまえ、様々な取り組みが行われています。その一つである町内会自治会訪問についてまとめた内容を、本号に掲載しました。他の町内会自治会の活動が皆様の参考になれば幸いです。
- ・ 小菅ヶ谷つながるプランは推進会議の企画委員会が中心となって進めていますが、主役は小菅ヶ谷地区に住む皆様です。町内会自治会の枠をこえて、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、積極的なご参加をお願いいたします。

# 小菅ヶ谷つながるプラン ニュース

第4号

発行日：平成30年3月25日

発行元：第3期小菅ヶ谷つながるプラン推進会議

発行責任者：田中健次

事務局：小菅ヶ谷地域ケアプラザ

## 第1回 町内会自治会意見交換会を開催しました

小菅ヶ谷つながるプラン推進会議 代表 田中健次

第3期栄区地域福祉保健計画の地区別計画における小菅ヶ谷地区の取り組みでは、皆様ご承知のとおり「みんなで作るふるさと小菅ヶ谷」をキャッチフレーズに掲げスタートしております。

個別計画では「地域の中でつながろう」、「地域で子育てを応援しよう」、「健やかな心と体を育てよう」、「災害時に備えた平常時からの要援護者支援に取り組もう」の4つの計画を立て

推進しています。

これらの計画の一層の理解と推進のため、各町内会自治会を訪問し、意見交換を進めてきております。

既に11町内会自治会を訪問し、未訪問は2自治会を残すのみとなっています。

訪問結果について、情報共有のため去る12月10日町内会自治会意見交換会を開催し、5町内会自治会から基本情報をはじめ、取り組み状況を報告していただきました。今回はその内容をダイジェスト版として皆様にご報告いたします。



田中健次代表

## 町内会自治会意見交換会

平成29年12月10日(日) 場所：小菅ヶ谷地域ケアプラザ 多目的ホール



発表される小菅ヶ谷西谷戸町内会会長



質疑応答される市営小菅ヶ谷第二住宅自治会会長



質疑応答も盛んに行われました

### 町内会訪問

一昨年8月29日の小菅ヶ谷陸会町内会を皮切りに町内会訪問がスタートしました。訪問時には、つながるプランのテーマ別に町内会での取り組みを教えてくださいました。そのことで取り組みが実際の町内会活動の中で実践されていることを確認しました。そこには、各町内会の特徴に合わせたキメ細かな活動があり、また、課題と感じていることも共有できました。よいところは小菅ヶ谷地区に広めたい。取り組みにくい課題への解決方法は、町内会の枠を超えて取り組む仕組みも必要と考えました。

\* 町内会自治会訪問の詳しい内容は中面をご覧ください。

### 意見交換会

第1回「町内会自治会意見交換会」が12月10日に開催されました。これは町内会訪問を受けて行われたもので、5つの町内会自治会の会長や担当者より、町内会自治会の特徴や活動内容、課題、防災活動の取り組みなどを発表いただき、その後、活発な意見交換が行われました。参加者からは「他の町内会自治会の取り組みを知る良い機会となった」「町内会自治会の共通した悩みや課題が出されたが、小菅ヶ谷地区としてこれらの課題解決に向けた取り組みの必要性を感じた」などの声が寄せられました。

## 春日町町内会

設立時期 : 2005年  
世帯数 : 265世帯  
月会費 : 250円  
班数 : 21班  
シニアクラブ : 凜々会 93名  
子ども会 : 45名  
70歳以上の人数 : 80名



町内会バス旅行

春日町町内会は小菅ヶ谷地区の西部に位置し、いたち川の新橋から西本郷中学校方向に広がる区域である。戸建ての中に中規模のマンション・アパートが点在しバス通りを挟み商店、企業もある一般的な町並みである。町内会が大切にしている事は「高齢者も子どもも住みやすい街づくり」であり、目指しているところは「子どもが元気でいないと将来は無い」と言う事である。災害時の備えはほぼできている。防災用品、食料、水の備蓄は全世帯の3日分を保管し補給や配布についても計画的に遂行している。防災訓練は消防署の指導を受け年1回実施し防災意識の向上を図っている。災害時要援護者支援の取り組みはできていない。要援護者の把握を早急に実施したいと考えている。

### テーマ

- 年一回の町内会バス旅行を行っている。今後も継続して行き住民同士の親睦をさらに深めたい。
- 小菅ヶ谷レク等で子どもの集まりが少ないので子ども会との連携を強めたい。地域全体で健やかな子どもを育てたい。
- 心身の健康作りの活動については、子どもから高齢者まで参加でき楽しめる活動を推進したい。
- 町内会役員・各種委員のなり手がいない。町内に適任者は多数いるので人材を掘り起こしていきたい。

## 小菅ヶ谷西谷戸町内会

設立時期 : 2001年  
世帯数 : 1,020世帯  
月会費 : 300円  
班数 : 67班  
シニアクラブ : 西谷戸シニア懇話会 93名  
子ども会 : ひまわり子ども会 150名  
70歳以上の人数 : 230名



小学生一泊体験

西谷戸町内会は結成以降、急激にマンションや戸建て住宅が建設され、人口が増した。当町内会の特徴は、若い働き盛りの世帯が多く高齢化率は低い。町内会活動は非常に活発で、活動を通して会員同士のつながりを深めている。代表的な活動を紹介すると、小学生を対象とした「一泊体験」、全ての世代を対象とした「世代間交流サロン」「焼芋大会」があり、また、町内会伝統行事となっている「サイトヤキ」「ふれあい秋祭り」「もちつき大会」などには多くの方が参加している。福祉活動では毎年、成人式を迎えた方に対し記念に残る「祝い品」を贈り、70歳以上の方に対しては班長が「お祝い記念品」をお届けしている。防犯、防災活動にも力を入れており「月例防犯パトロール」、年一回、町内会独自の「防災訓練」も実施している。また、「わが家の大地震対策」について全世帯に自己診断(アンケート)調査を行い、さらに「町内会防災マップ」を作成し全世帯に配布した。災害時要援護者支援の取り組みでは、要援護者とその方の所属する班の皆さんで、日頃からの交流を通してつながりを深めている。これらの活動は年4回発行の広報紙「ふれあいの町にしよう」で会員に周知している。

## 第3期小菅ヶ谷つながるプラン

### 第1回 町内会自治会訪問まとめ

## 市営小菅ヶ谷住宅自治会

設立時期 : 1973年  
世帯数 : 292世帯  
月会費 : 300円  
班数 : 28班  
シニアクラブ : 花みずき会 62名  
子ども会 : なし  
70歳以上の人数 : 211名



どんと焼き

環境的には静かで、本郷台駅や商店・スーパーにも近く、さらに大きな病院や区役所にも数分で行くことができる大変便利で住みやすい立地にある。防災については、自治会として全世帯に対して1.5日分の食料・水の備蓄をしていたが、東日本大震災の経験を踏まえ各家庭でも最低3日分の備蓄を呼び掛けている。また、2014年には各世帯の家族構成内容の把握が必要と考え「災害時地域支え合い安全・安心カード」を作り各世帯の協力をいただくことができた。その後、高齢化が進み介護保険を利用される方も増え自治会としての支援の必要性が論じられるようになり、これらの内容を含めた新しいカードを作って調査をしたいと考えている。このようなことをご経験された町内会自治会からお話を伺うことができれば幸いです。

### 小菅ヶ谷連合町内会



## 小菅ヶ谷五月会町内会

設立時期 : 1956年  
世帯数 : 78世帯  
月会費 : 300円  
班数 : 5班  
シニアクラブ : 廃止  
子ども会 : 休会中  
70歳以上の人数 : 53名



家庭内備蓄食品の試食会

町内会ではさまざまな活動を行っているが、特に防災について力を入れている。昭和31年5月に県営住宅60軒が建設され、今は78世帯2棟のアパートを含む小世帯の町内会である。東日本大震災を受け平成27年12月に町内会下部組織として防災委員会を設けた。これは住民が自発的に手を挙げた組織である。平常時は啓発活動を中心に行い、発災時の対応については指導権の順位を定めた運用細則を持っている。委員会は常任理事7名、15名程の防災委員で構成され、5班に分かれてそれぞれの担当地区を戸別訪問中心に啓発運動を行っている。

### 2年間で取り組んだこと

- 消火器の詰め替えは半分の世帯が実施した
  - 各戸に非常食の備蓄を促した(町内会の備蓄庫が無いため)
  - 家庭内備蓄食品の試食会を女性委員が実施した
  - 家具の転倒防止の器具の取付けを委員が協力して行った
  - 防災センターの見学研修
  - 防災ニュースの発行
- 関心の薄いこと、プライバシーの壁等悩みながらの活動であったが、徐々に防災に関心を持ち活動する仲間が増えてきたことが成果の一つと思う。

## 市営小菅ヶ谷第二住宅自治会

設立時期 : 1976年  
世帯数 : 107世帯  
月会費 : 300円  
共益費(月額) : 900円  
防災費(月額) : 300円  
班数 : 7班  
シニアクラブ : 市営小菅ヶ谷第二住宅敬老会 64名  
子ども会 : 休会中  
70歳以上の人数 : 59名



防災倉庫内の食料備蓄棚

当自治会は本郷中学校、消防署、大病院が隣接しており、入居当初は引切り無しに鳴る救急車の音や中学校の活動の音に驚かされた。各フロアの班長は班の入退居状況をすべて把握しており、新入居者はすぐに団地便りで紹介している。自治会費・共益費・防災費は原則として班長が毎月各戸を訪問して徴収し、班員の現状把握や安否確認に繋がっている。実際室内で倒れている人を発見した事もある。防災費は災害時の備蓄品の購入に充てられ、敷地内に設置されている倉庫に保管されている。毎月一回定期清掃の日は、住民同士の顔合わせの機会にもなっており、不参加の方を訪問し安否確認をしている。11月には清掃の後、避難訓練を行い豚汁の炊き出し、アルファ米等の試食をし住民同士のコミュニケーションの場となっている。要援護者は手を挙げて欲しいと常に声をかけている。

## 小菅ヶ谷睦会町内会

設立時期 : 1967年  
世帯数 : 130世帯  
月会費 : 300円  
班数 : 10班  
シニアクラブ : 休会中  
子ども会 : 7名  
70歳以上の人数 : 61名



栄区水害対策訓練に参加

地区の特徴としては交通の便が良く、一戸建ての住居が主でアパートは5棟、130世帯のこぢんまりした町内会。町内会としては毎月の定例会の顔合わせ、回覧、催し物報告、日頃から役員で訪問等を行って住民同士の繋がりが良く、新しい住民には会長がごみ出しの注意点を記入したチラシを配りに行き、本人の様子を確認している。チラシ配り等を利用し、130世帯の顔は把握できている。また防犯パトロールを毎月第2、第4週に行っている。その際70歳以上の一人暮らしの世帯にパトロールカード投函と声掛けを実施している。そのおかげで孤独死の方をいち早く見つけることができた。子ども会では資源回収に協力してくれている。また学校便りを会長へ届けてくれている。健康づくりではいたち川河川敷の散歩、各クラブの会議での運動に参加でき、町内会館にて太極拳や歌声喫茶等も開催している。